

在宅取組型(中学校)

| | |
|----------|---|
| 学校名等 | 養老町立東部中学校 |
| 実施日時 | ① 令和4年7月11日(月)~7月18日(月) ② 令和4年7月21日(木)~8月21日(日)夏休み中 |
| 会場 | 各家庭 |
| 参加人数 | 約350人 |
| 学習課題(分野) | ① 「話そう!語ろう!わが家の約束」運動(基本的な生活習慣・自制心・社会のルール) ② 「あったかい言葉がけ」運動(思いやり・家族の大切さ) |
| 運営者の願い | コロナ禍のため参集型の取組ができない中、家族の触れ合いを増やしたいという願いから、在宅型の取組を年間を通して計画した。家族の触れ合いを大切にしながらも、身近な問題について考えてほしいという思いから、取組の中に「話そう!語ろう!わが家の約束」運動、「あったかい言葉がけ」運動を位置付けた。 |

学習の内容

<スマホのルールづくり>~「話そう!語ろう!わが家の約束」運動~

【取組方法】

- ① QRコードを読み取り、「スマホのルール」を見る。(「おうちで家庭教育」西濃県事務所HP掲載)
- ② 家族で話し合って「スマホのルール」を決める。
- ③ 「話そう!語ろう!わが家の約束」運動実践カードに「約束宣言」(ルール)を記入する。
- ④ 実践内容や実践後の感想を伝え合い、実践カードに記入する。

【実践後のメッセージ】

- ・今まで守れなかったルールも、今回をきっかけに守れた。これからも続けていきたい。《生徒》
- ・1週間の取組を通して、普段話さないことも話せて家族団らんの機会が増えてよかった。これからも、家族の時間を大切にしたい。《生徒》
- ・スマホを見る時間が減ることで会話が増えたり他に目を向けたりできるので、これからも続けてね。《保護者》
- ・家族で話す時間が多くなり、とてもよい経験だった。今後も家庭内で実践していきたい。《保護者》

<家族川柳> ~「あったかい言葉がけ」運動~

【取組方法】

- ① 夏休みを利用して、親子で川柳を作る。
- ② テーマは学校と家庭生活(宿題、部活、テスト、教室、給食、友達、先生、恋愛、家族、家での出来事など)で楽しかった思い出も嫌な記憶も、ユーモアを交えて本音で作る。
- ③ PTA家庭教育学級の役員が審査し、表彰する。



【審査会の様子】

【最優秀作品】

- 給食で初めて知った友の顔 《生徒》
- 後ろから そっと見守る むずかしさ 《保護者》

<参加者の声>

中学生になって、家族との会話が少なくなっていたけど、この取組を通して、家族のよさを改めて実感した。
《生徒》

この取組を通して、普段はなかなか言えない親の思いや考えを伝えることができた。触れ合いを通して、わが子の成長を感じた。
《保護者》



「おうちで家庭教育」を見てから「スマホのルール」を決めることで、より効果的な取組となっています。どちらの取組も、家族について考えるよい機会です。特に、「家族川柳」はユーモアを交えることで堅苦しくない取組となっています。

